

第164回簡易アンケート自由意見（529件）

質問10

シニアの活躍推進に関するご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

1	”体力”の許す限り働きたかったです。
2	「シニア」という単語になるだけで、自分とは違う「何か」になりますが、各人が生きた先に「シニア」があるわけなので、日々生活をして得た知識や経験、賃金などだけでなく、それを超える「他人とのつながり」があると思います。 一人一人の「シニア」にあった、生活があると思うので、行政が関わらなくても…と思いました。たぶん、このままいくと「シニア」だらけですし、常識も変わってくると思います。
3	「シニアでも出来る仕事」という意識をかえなければならない。
4	・シニア専門の部署設置が望ましいと思う。（現役世代と同一職場でなく） 現役世代も、シニア世代も働きやすい環境になるのではないかな。 ・シルバー人材センターの更なる積極事業展開。企業・職種開拓、会員募集等。
5	10年以上前の話ではありますが、パーキンソン病を患っている父親でも仕事をいただけると言うことで、シルバー人材センターに登録しましたが、結局1回も仕事をいただけなかったということがあります。持病があっても働く意欲があるシニアの方も差別なく通常の職場で働ける環境を整えていただきたいです。
6	①本人の希望はともかくシニアを単なる一般職（非管理職）員として扱う意識。 ②健康面で長期雇用心配ないものは普通に採用（助成制度。本人の健康は自己責任＝企業では突然の健康事故を心配し、採用しない動きがあるため） ③シルバー人材センターの強化。斡旋先の積極的確保営業。（官庁ですら季節臨時雇用者募集をセンターに頼らず、独自に一般募集してる）
7	30～40年前の60代と現在とでは健康年齢がものすごく違っている、しかし企業や法律では未だに、50年以上前の法律や企業規約で動いている、こういった矛盾を国や自治体が積極的に取り組んで変えてほしいと思う。 また、住環境も賃貸暮らしの人も多くいるのに年金＋賃金＜家賃水準になっているので、高齢者向けの住宅の拡充なども検討してほしい。
8	50歳から、将来の人生設計をする事が肝要だと思います。 私は、50歳の時に将来の為に別荘地にログハウスを建てました。 また、60歳の時には某会社の役員を退任し、妻と日本全国愛車を駆って回りました。 現在は、健康と体力維持の為に、地域の卓球サークルで週2回卓球をしたり、山荘で里山の四季や温泉を楽しんでいます。 なお、現役時代には会社の企画でリタイア後の生活設計等のセミナーに、夫婦で参加しました。
9	50歳でも記憶力や体力など、若いときに比べると落ちたと感じるのだから、60歳となると、若い人達に混じってきちんと働けるのか疑問。そもそも、こういった仕事に適職か県はイメージがあるのでしょうか？
10	60歳過ぎても働く事を大前提に推奨している事に怒りを感じる。
11	60歳過ぎると、がくと賃金が減るので、60歳以降の人のやりがい奪ってる気がします。
12	60才でシニアと言われたくない。
13	60才以上の、活躍の、仕事を、もっと、作って、欲しいです。
14	60才定年後、学校の先輩より企業の紹介があり70歳まで正社員として働くことができました。その時感じたことは、学校の先輩とはいえ、人と人との繋がり大切だなと思いました。また、健康で働く意欲と知識を取得する意欲があれば、60才を超えても違った職種でも十分働けることができると思いました。
15	60歳では遅すぎると思い、50歳で30数年勤めた会社を早期退職し、夜は夜間勤務、昼は登録ヘルパーの仕事をし、ボランティア団体で今でも活動中。市から介護相談員を委嘱もされた。

16	60歳を過ぎても健康で働きたい方は多いと思います。働く機会を増やすことが必要だと思います。
17	60歳を過ぎると、新たな技術や職能を身につけることは難しいと思います。だとすれば長年培ってきた知識、技術、知識をそのまま生かせることが望ましいと思います。
18	60歳以降、社会保険が定年退職者と一緒なのは不満。
19	60歳以降も働くと言えども、体力や知力の低下は50代と比べ歴然としてある。それは仕事の失敗に直結するかも知れない。失敗のリスクを回避する為に、それまで長年やってきた慣れた仕事に極力従事する方が良いと思う。その上で、何歳まで働くか、自分の体力知力を鑑みて、周囲に迷惑をかけることなく、退職をすべき時を自分で冷静に判断することだ。仕事だけが全てではない。仕事を終えて、まだまだやれることはいろいろあると思う。
20	60歳以上で働きたいが一方で若い人の仕事ややる気を損ねかねない気がしているので、シニア雇用と賃金等慎重に考える必要があると思います。現在の賃金形態を見直すことが大切だと思います。
21	60歳定年の企業が多い。定年延長企業の税金の優遇制度等対策が必要と思われる。
22	60歳定年後の28万円の壁を撤廃することと、同一労働・同一賃金を実現すること。この2つがクリアしないとシニアの活躍など絵に描いた餅でやる気が出る人は稀だと思う。
23	63歳の時面接して落ちたんですけど 60歳過ぎると 働く所ってあまりないですね。
24	63歳まで勤務した。その後自分で起業したかったがもろもろの問題が発生し、起業できずに終わってしまった（今でも残念）。
25	65才まで働きましたが、当時は限度でしたが今思うと70才まで出来た。
26	60代後半で会社役員を辞めさせられました。自分が40年以上も貢献してきたのに燃え尽きて、次の仕事の意欲を失いました。これからの人は、上手くワークライフバランスを取って行くことがたいせつです。
27	70才まで大丈夫です。働けます。
28	70才定年法を制定してほしい。
29	70歳ぐらいまでは働いたほうがよいと思います。
30	70歳までは雇用契約が出来る制度があるのが、望ましい。健康年齢が70歳以上になっています。終身雇用の環境作り指針があるべきと思います。
31	70歳を越した時点で、病気を宣告され、健康が許されるまで働きたいと願っていたものが、脆くも崩れてしまいました。長年の不摂生が原因とは理解できても、身に覚えのない不摂生が原因であるため、返す返すも残念でなりません。
32	74歳ですが、リタイヤ後縁あっていまの会社で月に6、7日働いています。5年間は研修講師を務め、今年からは、社内報編集の手伝いです。どの仕事も現役時代の経験が生きています。会社も大変理解があり、勤務時間や時給など働きやすい環境にしてくれています。やはり中小企業ではトップの考えで高齢者の扱い方が決まります。若い方々が多い会社なので、とてもいい刺激になっています。ただ来春後期高齢者の節目になりますので、そろそろ暇乞いの時期と考えています。
33	74歳でメール便の配達をして小遣い稼ぎをしていますが、一寸収入があると、住民税や介護保険税・健康保険税に跳ね返ってきて、手取り収入が全然増えないのが悩みの種。年金生活者のプラスαの収入を年額50万円くらいまでは非課税とするか、住民税の課税対象額を国税並みにしてくれれば、シニアのやる気もチョットは増えると思います。
34	80才半ばに近づきつつある今、少子高齢化の今日を考えると、シニアの人達の経験や知識を活用する機会を拡充することを期待します。
35	80歳までパートで働きましたが健康管理が自身でできる体制でないと無理。
36	あまりシニアばかり働いていても若い人がなかなか育たないから考えもんだと思います。
37	あまり高齢で働きたくない。

38	いつまでも働ける人が生き生きとして働ける社会であることを希望します。
39	いろいろな経験を生かせる自分に合った職業を幅広く紹介してくれるようなところが、たくさん欲しい。
40	エイジハラスメントを感じることはありませんでした。何歳であれ、働く意欲は大切だと思います。
41	お元気で、まだまだ働きたいと思っているシニアの方が、たくさんいらしゃいますので、マッチングがとても重要な事と考えます。
42	かかりつけの医者や定年や転勤で困っている。カルテは残っているのだけれど記録できない様な事柄が引き継がれていない。健康第一で活躍期待は期待薄か。
43	行政組織でも管理職が立場を変えて組織に居続けるケースがあります。居続ける定年到達者は所得が得られるのでハッピーですが新管理職はやり難いはずですが。権力を持つ現管理職がメリットを享受する制度を「働き方改革」で作ってはいけません。先輩が後輩に率先して譲る事で組織は活性化し成果をあげます。特に、競争や改革と縁のない組織は注意すべきです。
44	このまま人口減少が続くようだとシニアの労力も大切なものになっていくと思います。給料を頂けるだけの体力と能力の維持は大切なことだと思います。そのことをシニアの人に良く理解していただく必要があるのではないのでしょうか。
45	このようなアンケートを定期的の実施して、社会の変遷を行政も含めて共有することが重要と思う。
46	これからは、シニア世代でも、意欲の有る人が無理無く働ける社会の仕組みが必要だと思います。
47	これからは、超高齢化社会なので、シニアの力が必要になってくると思います。
48	これから高齢化社会が世界各国で進んでいくが、うまく経験豊富なシニアの能力を活用させていかなくてはならない社会が嫌でも必要になる。難しい問題だが解決していかなくてはならない。加えてAIの社会も急速に進んでいくので、体力のないシニアや身障者らとAIの処理能力をうまく合わせていけば年齢を問わず全員が自分に合った働き方が出来ていくと思う。
49	これを機にシニアの働ける企業を広く周知してください。
50	コロナで仕事が激減してしまったが、なんとか安い賃金でもいいので体力維持の意味でも働きたい。
51	コロナとシニア活躍。 難しい課題ですね。模索しなければなりませんね。
52	シニアの活躍する場所までコロナ禍は奪ってしまいました。世界的パンデミックにあって、暫くはサイレントウィルス危機感を持ちながら活動していかねばなりません。働けるシニアの限りある未来に、行政の取り組みを宜しくお願い致します。
53	サラリーマンで一生働くことに疑問がある。 若い世代の雇用問題に影響しない働き方は、起業が一番良いと思う。
54	システムや行政の支援は流動的なので、個々に対応するしかない。
55	シニア、女性、外国人、日本人ニート等に生きがいを持って活躍してもらうためには、制度の柔軟性が必要です。
56	シニアがいつまで活躍出来るよう、扱いやすいITや、ロボット技術の発展が進むと良いと考えます。
57	シニアが安い給料で働くことにより若い世代の給料を引き下げるようでは困る。行政としてシニアの就労を推進するのであれば、若い世代の足を引っ張るようなことにならないようにしてほしい。
58	シニアが活躍出来るというより、それまで無理をしてでも頑張ってきたのだから、ゆっくり無理せず働いていければ良いと思います。
59	シニアが歓迎される職場であれば働きたいです。また、働くシニアも、謙虚な気持ちが大事だと思います。
60	シニアが働きたいと言ってもそもそも働ける場が少ないのが現状で、まずは大々的に風潮を変えていくところから始める必要がある。
61	シニアが働きやすい環境の職場が増えるといいと思います。

62	シニアが働くにはまず、普段から健康管理が第一。 シニアは健康でも、どうしても行動力が低下するので同僚に迷惑をかけやすくなる。 仕事の納期が少し猶予できる仕事であればベストと思う。
63	シニアが働く意欲が湧くように、シニア用の求人情報を市報に載せてほしい。
64	シニアが必要なところ、いたら良くなるだろう、という場所を、募集したり考えたりする といいと思う。シニアの活躍が人々に幸福をもたらしている場所を紹介するといいと思 う。ヒントになる。学校の見守り活動を行っているのは、シニアがほとんどだろうが、県 や市町村のサポートがもう少しあるといいかもしれない。例えば、彼らが見守り活動 を行っていることを広めることで、変質者などが減らないだろうか。
65	シニアだろうが新人だろうが能力によって給料が決まる世の中になれば社会が変わって いくと思う。
66	シニアって言うけど私の周りの60代・70代は元気に働いています！私の父も80歳までシル バー人材センターで仕事をして引退しました。働けるウチは働く！ウチでクサクサして るのはもったいない！私も見習いたいと思っています！頑張りましょう！
67	シニアでもいろいろ皆さん元気で活躍しているので、事例があれば知りたい。
68	シニアでも気軽に相談できるツールや幅広活躍の場の紹介が必要だと思います。
69	シニアでも無理なく保育士資格が活かせる職場が、この先あればいいなと思っています。
70	シニアで元気な人は働けるような仕組みを、そして低賃金で使おうとしないでほしい。
71	シニアで働くことは非常に有意義なことと思います。 ①動くことで健康を保てる ②人と交流の幅が広がる ③若干金銭的な余裕が生まれる ④特技を生かせる
72	シニアで働く人には横柄な態度の人が少なからずいる。だから歓迎されないのでは？自分 はそうなるまい、と思う。
73	シニアという言葉自体の廃止を望みます。
74	シニアといっても、人それぞれに経験や適正が異なりますし、希望する職種、業務形態も 違うことでしょう。 そういった多様な状況でも対応してくれる窓口がほしいと思います。
75	シニアといってもいろいろなタイプがあるので、全部一緒にするのではなく、タイプ別 に分けて考える必要があると思います。例えば、ボランティア（無償）でいいのか働きに あった賃金が欲しいのか。体力がどれだけあるのかテストするとか。技能習得したい人 にはそれを用意し、すでに身につけている知識や技能を生かしたい人にはどこまでできる のか判断して、活動をあっせんするとかが良いのではないのでしょうか？
76	シニアといっても個人差がある。望む環境も違う。それぞれが目的に合った働き方ができ ればよいと思う。
77	シニアとか関係ないと思います。
78	シニアとしても、働きたいですが、金銭面や待遇で不満に思う。 まだ、子供が小さく教育費がかかったり、家のローンとかがある家庭が多いと思う。 定年後の給料は、半減してしまうため、働いても厳しい。 このようなところを、国、県として検討してほしい。
79	シニアとして会社に居座り続けられてしまうような仕組みだと、企業の新陳代謝が図れな くなり困る気もする。
80	シニアとして活躍できる場、働きがいを提供してもらいたい。
81	シニアとひとと言で言っても、老い方に個人差があると思います。なので経験した事をパ フォーマンスとして出来る人も居れば、そうで無い人も居ると思うので、雇用側としても 難しいと思います。 シニア専用アプリ職業訓練所があって、そこのお墨付きがあれば良いとおもいます。

82	シニアと一口にはまとめられないのが、シニアの能力や、健康、家庭環境。選べるのか、入れてくれるところに入るのか・・・。 ずいぶん違うと思われる。 昔の情報を固定概念で持ち続け、変えようとしめないシニアには、先端に行く会社での仕事は無理。 シニアに能力検定など（自動車教習所で行うような適性検査）をしたり、トライアルの機会があるといいと思う。
83	シニアと一口に言っても、60代、70代、80代。個人条件等で求めるものが全く違う。
84	シニアと言っても、まだまだこれからですよ！
85	シニアと若者が共存できる職場環境の構築。
86	シニアと年金についても知りたい。
87	シニアにとっては、年金等で生活が出来、健康のために趣味や社会貢献が行えることが理想であると思います。
88	シニアになっても、力を活かせる場所、待っている人がいたら、私も、少しでも健康維持と社会貢献のため、働きたいと思う。シニアだからこそ力が活かせる場所がたくさんあれば良いと思う。
89	シニアになっても働くことができるのは、精神面も含め健康体でいられることが重要ですが、60歳過ぎてもまだまだ働けるので、その機会を紹介してもらえればと思っています。
90	シニアになっても働くことができれば、経済的な余裕ができる。また、職場へ通うことで規則正しい生活をする習慣ができる。つまり、シニアにとっては、働くことは健康を維持する1つの方法だと思う。したがって、働くシニアを支援するための行政の役割は大きいと思う。
91	シニアになると成人病や生活習慣病等 疾患に対する企業の配慮が必要であるが 企業にも負担になる、ましてや中小企業からすれば大きな負担になりかねないので、なんらかの補助等が必要。
92	シニアになるほど体力の個人差が大きくなる。 若いうちから生涯を見通した体力、健康づくりの大切さを啓蒙してほしい。 若い人で、やせるために朝食を食べないなどというのはもってのほか。
93	シニアに限定した話ではなく、ダイバーシティの問題。様々な事情/条件の人々に対し、適切な指示/評価が出来る組織が作れないと、これからは会社も立ち行かない。そういう会社が増えるような施策の方が良いと思います。
94	シニアに拘らず、ミドルの世代からも変えていくことが大事だと思います。
95	シニアのキャリアを活用できる仕事の開拓。
96	シニアの活動は、仕事以外にもある。
97	シニアの活躍としては、ボランティアなど地域の活動でも良いと思います。元気な高齢者が地域で活躍できる仕組みが充実すると良いと思います。
98	シニアの活躍よりも現役世代の人達の働く環境を整えるべき。
99	シニアの活用としては肉体的な労働より、知識、経験が活かせる職場を紹介することが大切だと思います。色々職場を探してみましたが、体力を要する職場の紹介が多いようです。シニア層には体力の減退を自覚している方が多くいますので、出来れば、知的能力が発揮出来る職場を紹介するようになりたいです。非常に少ないですが、あれば、喜んで働くと思います。最低賃金が確保されなくても、生き甲斐を感じる人は大勢います。
100	シニアの活用は外国労働者の「技能実習生」と同様「安い労働者」として採用されている方が多いのが現状。つまり正規・若者の「就職困難」「低賃金化」の「一因」に成っているのが「現実」である。良識あるシニアは此れに悩む。という事で「シニアの活用」と云う前に「正規者の身分保障」「60歳以下の人材派遣の禁止」等(正規労働者以外採用できない、正規は組合等で身分が保証されている事)この様な体制を整えてから「シニアの活用」つまり企業のエゴを防ぐ事が大切である。
101	シニアの活用は労働人口減少の昨今にあって、大切な課題です。

102	シニアの気分は「若い」。自分たちを高齢者だとは思っていない。だからシニアを年寄り扱いにしないことだ。したがって、行政には余計なお世話(取り組み)をしないことを望む。
103	シニアの経験や技術を若者に教える仕組みを作る。
104	シニアの雇用を多く生み出す。
105	シニアの雇用機会をもっと確保してほしい。
106	シニアの雇用推進は行ってよいと思ってますし、シニアの経験が生かされることは後世にとって宝になると思います。しかし、シニアの雇用が若者の雇用を圧迫するような状況は避けなければならないので、その辺りのバランスを図る必要があると思います。
107	シニアの仕事と言えばボランティアだの低賃金の労働という印象。 私たち世代になると、支給開始は遅れそうだし年金額は少ない。 ボランティアなんか悠長にやられてる余裕はないと思う。 定年撤廃して働く意欲のある高齢者は積極的に雇用し、賃金も充分払ってほしい。 今の高齢者の仕事内容や賃金では、貰える年金額が減るんだから生活していけない。 地元市で暮らすのはお金かかるから。
108	シニアの仕事場だと、一般的には、警備や清掃などと言った裏方で体力的に大変な仕事しか、ないような気がします。もっと、色々出来る方も多いのに、年齢で、すぐに職種を制限されてしまうようです。でも、これでは、なかなか生き生きと働けといっても、難しいです。もっと、シニアにも幅広く仕事の機会を与えてもらいたいものです。募集に関しても、年齢制限は、書いてなくても、実際には、年齢で落とされてしまいます。企業にも、表向きだけ、年齢差別してないふりの募集は、やめてもらいたいものです。
109	シニアの持つ知識と経験を活かした雇用を考えて欲しいと思います。
110	シニアの就職探しで募集している企業の多くが年齢制限があったり、募集内容に当てはまってもすでに採用済と言われる事が多い。募集内容には年齢制限がある場合はきちんと表現させる行政が必要だし、定年制を設けている募集を見てもとても人生100年を見込んだ募集にはなっていないと思う。〇〇歳以下募集可能などの表記があると応募したい気も起きるのだが。
111	シニアの体力、能力に合わせた、いろいろな働く場所を提供してほしいと思います。まだまだシニアの力を見逃さないでほしいです。
112	シニアの体力低下をカバーする制度(労働時間少、休日数増)を設けるが、賃金は削減しない制度。
113	シニアの知見、経験等を地域の財産として積極的に取り込み、行政の合理化、地域の活性化を図るスキームを構築すべきと考えます。
114	シニアの働く場が増えれば良いと思う。
115	シニアの働く場でのブラック的な話も聞きます。 安心して働けるよう、情報公開してほしいと思います。
116	シニアの能力を活かせる企業や職種の紹介。
117	シニアの方と働く機会があります。優しい方がほとんどですが、残念ながらプライドが高く新しいことを覚えたがらない方もいます。 近年の職場ではパソコンを使うことがほとんどですし、接客でしたら外国人と接する機会もあります。昔よりも変化の多い時代です。そういったことを数少ない若い世代に押し付けて、年齢が上だからと偉そうな態度をしている方もいるのです。業種によりますが、若い世代のフォローなしにシニアの方が活躍するのは難しい職場のほうが多いと思います。若い方と同じようにバリバリ働いてほしいなど要求はしませんが、足を引っ張らないでほしいのです。行政のほうでもシニアの方に対する啓発をしていただけたらと思います。
118	シニアの労働伸長でNPO等への社会貢献参加者が減少しています。定年延長の中での在席企業の意向によらない社会貢献活動への参加が出来ないか。
119	シニアは、働くにしても、必ずしも相応の対価を求めるだけではないはず。 自分のできる仕事をして社会に貢献したい、という思いを汲んでくれる仕組みが必要と思う。
120	シニアは健康の問題があるので(通院時間の確保)。勤務時間の融通がきくことが、就職の条件とする。

121	シニアは昔の同年代より若々しくなっているので、社会で活躍できると思うが、若者や女性、さらにはニートや引きこもりの就労支援と含めて、包括的に推進すべき。そんな人たちが気楽に利用できる、職歴や適性、要望に見合った職のマッチングの場があるといい。ハローワークほど仰々しくなく、シルバー人材センターのように年齢で区切らず、気後れせず行けて（職自体も短時間や短期間などフレキシブルな内容）、居場所にもなるような所。
122	シニアは地域の仕事しかないが、本来は他県に行ったり、遠くで働いてもいいじゃないか？地方なら、まだ建設工事の仕事もあるし、地元こだわらなければ、仕事はあると思う。もっと県は地方、他県の仕事をとってくるべき。埼玉にこだわる時代は終わってると思う。
123	シニアも競争（成果）を導入すべき。
124	シニアよりも、安心して産み育てられるような環境作りが先。
125	シニアライフ案内士の養成セミナーを開催しているようですが、そのシニアライフ案内士が機能しているのか、実感が湧きません。若年層の雇用にも配慮しながら、企業への助成金と働くシニアに直接働きかける両方の施策が必要ではないかと思います。
126	シニアを使う方も大変。
127	シニアを支える若者の優遇がより肝心。
128	シニアを重んじるあまり、若者の職場を奪うことにならないように気を付けていただきたい。例えば、ある医療関係では、80歳以上になられても、相変わらず理事や、名誉会長等の肩書で、辞職なさない。このような事が増大すれば、逆三角形な職場（高齢者が多くて、中高年以下の勤務者が少ない）となりかねません。あくまでシニアは補佐的役割を重んずるべきと考えます。メイン、中心的な仕事は中高年以下の社員、職員に任せること。シニアは経験を生かし、色々な仕事でのノウハウを指導するなど、あくまでメインでなく、縁の下の力持ち的活躍を望みます。
129	シニア以前の年齢層の転職・就職待機対策の充実。
130	シニア一人一人のスキルが違いすぎる。 仕事を効率よくできない人間がそのまま残りたがる。
131	シニア活動ができるよう、専門技術を常に習得を心掛ける。
132	シニア活躍は、後継者育成や若者の雇用疎外という事態にもつながりやすい。 年齢が上がるにつれ最高給与を抑制する、役職を制限する等、次の世代にスムーズに受け渡していく制度も必要だと思う。
133	シニア活躍を推進するためには、シニア自身のライフプラン作成能力を強化する必要があると思う。定年後も働かないと生活できないというような「追いつめられて再就職？」ということがないような、国、県の労働政策を確立すべきと思う。
134	シニア活躍推進とは結局若い人や働き盛りの年代を雇わない口実になっているしシニアが正社員より安い人件費で雇えることを前提とした価格で商売している。 シニア活躍推進による人件費削減という考えそのものを反省しない限り日本から優秀な人材は流出し続ける。
135	シニア活用と平行して、就職氷河期で割りを食った世代のケアなど、世代的な偏りのない総合的な人材育成や人手不足対策を講じてほしい。
136	シニア活用は賛成ですが、若者が嫌う危険・汚い・きつい仕事への配置は避けて欲しい。 高齢者に沿った働く環境・保障を確実に整備して欲しい。
137	シニア雇用の実態を今一度把握しなおす必要があるのでは。 20数年前から企業要望での再雇用は日常的に行われていました（勤務者希望と異なる例も多々存在）し、現在も続いているようです。
138	シニア向けの労働条件の整備を望む。賃金については、年金受給を含めて賃金を低く抑えている。役員等の高額な収入を得ているものを除いて、ある程度の年収までは年金の減額等の制度を廃止し、いつまでも働くことができる制度作りを望む。
139	シニア世代になってから、今までやってこなかったような仕事に就くのは難しい。 中年層から対策が必要。
140	シニア世代には健康増進を第一優先とする施策が欲しい。
141	シニア世代の働き方だけでなく、全ての世代での目線で課題を捉えて欲しいです。 シニア世代が若者の仕事を奪ってはいけなと思いますし、逆に適正に合わない仕事をシニア世代にさせるのも問題だと思います。

142	シニア層の働く意欲は十分。コロナ禍後の働き方改革によりシニア層の活躍の場も拡大する可能性大。企業との連携強化をはかり情報発信されたし。
143	シルバー人材センターで紹介される職種を増やして欲しい。（管理的な業務等）
144	シルバー人材センターの活性化をはかるべきである。働く意欲のある高齢者が選べる業種が少ない。
145	シルバー人材センターも含めて、業務委託契約は受託者が不利な契約になりやすい。最低賃金を下回る契約は貧困につながるので厳禁にしてほしい。また、高齢者の健康管理や、リスクなどもある。無理せず働けることは重要。安全に安心して働ける仕組み作りを。また、働けなくなっても生活できる仕組みも大事。
146	シルバー人材を採用する求人案内を広くネット上で検索できるようにする。人材派遣センターもあるが、派遣先業務に魅力がかけるように思える。
147	すごく、近い未来のお話だった。老後の2千万円問題もあるが、死ぬ5秒前くらいまで働かないと生活できない気がする。
148	ストレスがたまらない気楽に楽しく仕事ができればいいと。
149	すべての人にとはいかないだろうが、資格を獲得することの支援をしたらいいと思う。
150	ただシニアを働かせるために何をするかということだけであれば、単純に定年の年齢を動かせば良いのではと思います。しかしそれだけではなく、社会としてシニアも含めた労働力全体に関して、労働生産性に関して、考える必要があると思うし、それを考えるにあたっては、成果主義による報酬制度（働きに見合った賃金）と労働市場の流動性を高める（会社側も労働者側も選択肢が多くなる）ことが大事だと思う。
151	ただただ高齢者が働くだけでは、現在の年功序列の意識が強い人もいるため、現場で無駄に幅をきかせたがる人もいると聞きます。シニアの人材への現役世代の理解だけではなくシニア世代が現役世代にどう思われているのかを自覚するような、相互理解の場というものが得られれば面白いと思います。
152	家族の協力です。働きたい気持ちがあっても、理解が無いと気持ちが失せてしまいます。世間体を気にして、意欲を頭から抑えられた経験から思います。
153	できれば定年後は働かなくて済むような世の中になって欲しい。
154	テスト就業の機会が得られる制度の創設。
155	どうしても現在働いている会社の方が、いろいろな勝手もわかり働くにはいいと思います。が、積み重なった不満もあります。本当は折角なので新しいところで働きたいと思っております。いろいろと慣れたところは改善しようとか、考えなくなったので。年を取るとなかなかリスクも取りづらくなっているのです。
156	体力健康面で若かった頃と同じように働けないのを自覚して、適切な仕事内容の働き口があればいいと思います。
157	とても切実な問題だと思いました。県による政策対応に期待しております。
158	とにかく元気である限りは70歳くらいまでは働きたいと思います。
159	どんどん社会に貢献したいと思っているシニア世代の方が多いので国も率先して働くことができるような制度整備をしてほしいです。
160	パートでも定年が廃止されるよう、健康なうちは働けるよう企業に働きかけてほしいです。定年後の再就職は難しいので、今いる職場で引き続き雇用してもらえるところはできるだけ定年延長できる制度があればと思います。時給を下げられたり、労働条件が不利にならないよう、相談窓口もしっかりしてほしいです。
161	ハローワークなどが親身になって、企業との取り次ぎを行う。
162	ハローワークに限らず、地域支援協議会などでもシニア就職斡旋相談を構築してほしいです。以前ハローワークで再就職を相談したらこの希望は難しいですと言われてあとのフォローがありませんでした。希望者も大変厳しいですので、どのように希望を出したらいいかがわからない状態ですのでフォローが必要です。働く意思がある以上話し合いを持ってもらいたいです。
163	ハローワーク以外で、年齢に合わせた職業斡旋や相談の場があるとよいと思います。

164	フルタイム勤務を学校教育の場で40年間行い、親の介護のため定年で退職をし、今は自分で納得のいく介護を目指して自分の生活と、毎日を過ごしている。 本来なら元気なので、もう少し働きたいところだが、今置かれているところで優先順位があり、介護がキリが付いたらまた働きたいと考えている。 高齢者が働くには、キャリアがあっても心身の衰えが確実にあり、今回のコロナでも高齢者は感染しやすいので、そういう意味でも職場環境の配慮は大切だと思っている。 生徒は不顕性感染でも高齢の職員には感染確率が高い。特に学校という場では、緊張感の中で仕事をするにはそれなりの職場環境の配慮をしないと今までのキャリアが生かせないし、若者へ伝えられない。
165	プログラム開発、データサイエンティストなど日本や世界で先端領域で不足している職種に向けての研修が必要。それを教えられるような大学を作る。 大学はMBAなどだすより、そういうところに特徴を持たせたほうが良いと思う。
166	ほとんどの会社が勤めようと思えば65歳まで可能だし、70歳まで勤めたい人はシルバー人材センター等に登録すべきだ。ガードマンも若い人が進出してきている。
167	まずは若者が社会経験を積む機会を最優先すべき。若者が結婚や子育て、介護を希望したときに余裕を持って対応できる賃金を支払って、社会はそれをサポートして欲しい。 そのためシニアは、自分がしたい仕事より社会で必要とされている仕事につく方向で啓蒙活動が行われるといい。もちろんそのための給与や社会的地位の保証、やりがいやプライドを保てるよう社会全体がそういう意識になるといい。
168	まずは年金だけで生活できる社会にして、そこから受給年齢になっても働きたい人が働ける社会にしていくべき。
169	まず若者が希望をもって生きていける社会を。そうすればおのずとよくなる。コミュニケーションの豊かな社会、そうすればよくなる。
170	まず若者の就職の妨げにならないことが大前提だと思っています。 その上で今まで蓄積されたキャリアを生かせるものや体力などに見合った職に就けるようにできたらと思います。
171	まだ20代で40年先のことについて考えることはないですが、社会的地位が失くなって社会との繋がりが切れてしまうのは怖いと思います。 定年を迎えた後にも、仕事なりボランティアなり自分が必要とされる場所があれば良いと思います。
172	まだ30代前半で想像できないことも多いですが、フルタイムではないにしろ、健康を保ち生きがいを得るために仕事はしたいなと思っています。
173	まだまだ60代は元気な働き盛りです。 若い人が少ない時代に、痒いところにも手が届くような方々を大事に使えたらと思っています。
174	まだまだ若い。暇と金銭的に余裕のある方はボランティア活動をして欲しい。
175	まだまだ体力も気力も充実している年代です。しかも培ったキャリアも捨てがたいです。ただ、ご本人の立ち位置の確認をしっかりと自覚しないと軋轢が生じやすいです。 また若者の育成の邪魔をしてはいけません。孫のような世代です。暖かく指導してあげられないのなら働くべきではないと思えます。とにかく自分のキャリアをしっかりと抱え込んでしまう方がいらっしやいます。昔風な「見て覚えろ」ではありません。マニュアル世代に優しいシニアでありたいですね。
176	まだ実感がないのでこの先のことは考えていません。
177	マナーを守ってほしい。 年配者は(特に男性)、なかなか守れない人が多い。
178	もうじき定年なので今から準備します。
179	もう少し活動できる場を提供してほしい。
180	モチベーションを保つためには何が必要か。
181	やはり、環境整備でしょうか。 働く意欲があり、それなりのスキルや知識があるシニアはどんどん働くべきです。
182	やりたい仕事があれば、仕事をしたいが、なかなか、望むような仕事はない。 ワークシェアなどで、自由のきく形で働けたらと思っています。
183	やる気や能力、経験のあるシニアは多くおり、それらを必要とするマッチングの取り組みをより多く実施していただきたいと思っています。
184	リカレント教育の骨太な推進を求めます。

185	リモートワーク、テレワークなど、在宅勤務の推進をしてほしいです。
186	わかりやすく活躍推進のPRをすると思います。
187	意欲のある人に向けて活躍の場が増えることは大事だと思うが、心身が余り丈夫でない者にとっては活躍出来ていない事への後ろめたさを感じる時があるので、働くこと以外にも存在意義が見つかる雰囲気があると良い。
188	一般の勤め人は、概ね定年後の人生を描きながら能力を開発している、と認識している。行政としては、その時点で転職、再就職をサポートできる機能を準備しておくべき、と考える。
189	一律の定年延長は、若者や後継世代の雇用に影響があるので、慎重に行うべきと考える。働く意欲が高い方を優先して、シニアの経験や知識を活かしつつ、さらに時代の要求に合わせて「磨き直したうえで」、適切な働き場の場を提案するのが良いと考える。
190	一律定年退職という形ではない方がいいと思う。
191	引っ込み思案にならない高齢者を優遇する仕組みづくり。
192	運転免許と同じで、限界はそれぞれ違う。
193	映画の「マイ・インターン」のようにするのが理想的。
194	下手な若者より、60代の方が良く動くのに、賃金が低いのは納得できない。年齢に関係なく、働きに応じた賃金を支払うべきだ。
195	何で定年後も働かなくてはいけないのか。この議論が必要ではないでしょうか。年金をもっと上げてください。60歳以降好きに選ばせてほしい。働きたい人は働けばいい、働きたくない人は働かなくてもいい環境を行政は作ってください。報道では60歳以上の労災が多らしい。シルバーは個人事業主なので労災対象外だという報道も。60歳以上が安全に安心して働ける環境ではないのではないのか。埼玉県が率先して議論していただきたい。
196	加齢は個性化だという考えでやってきました。では、制度としてはどういう形になるか、年々、答えが見つからなくなっています。前世紀は、女子の雇用について、それなりの著作・講演活動など依頼を受けると、お引き受けしてきましたが、高齢者になった今、明快な答えは、年々、出しにくくなってきました。
197	過去の功績や、過去のやり方に固執する人は、面倒やトラブルをおこしがち。転職経験がないまま終身雇用でそれなりの役職になってた人や名の知れた企業に勤務していた人は、誰かにやってもらえて当たり前の振る舞いが抜けずに役に立たないことが多い。そういう自覚をまずしてからとを感じる。
198	会社で卒業が間近になったら、本人の実力と能力に応じて働きかけることが大切だと思います。
199	会社人間から地域人間への切り替えがうまくいように地域で貢献できるお手伝いがしたいと考えていた。
200	会社都合で一度転職したが、ハローワークは定型の職業しか対応してくれず、その人の経験に合わせた紹介ができなかった。定型の職業紹介も必要だが、これだけでは様々な能力が埋もれてしまう。経験/能力に合わせた紹介もできる体制や紹介担当者の能力向上が必要。
201	学びの場を作って欲しい。
202	学校や学童の教員補助などにたくさん入ってほしい。
203	活かせる能力を使うというギブ・アンド・テークの社会が出来れば良いと思う。
204	活動するシニアを広く紹介して欲しい。
205	活躍したいが、現代の若者達はサラリーマン化していて扱い難い。指導力発揮したいがお金の面で問題があり、シニアの活躍は難しい。
206	活躍といわれてもなんだか違う気がします。生活だとか楽しみだとか生きるだとかは活躍というカテゴリーではない気がする。いろいろな人が生きやすい社会であって、漠然とした昔ながらの活躍という言葉を見ると活躍しないといけないのかと思うとなんだかげんなりする。活躍を評価する誰かがいるのかと旧態依然とした日本を感じてしまいます。

207	活躍出来る人材は活躍の場を求めています。年齢は活躍する上での条件にはなりません。
208	企業、役所等組織側の問題。
209	企業の定年は、退職定年、役職定年などいろいろありますが、会社も働く人も人生の区切りをつけるため定年制度は必要であります。そのうえで再雇用制度や就職あっせんなどを充実させていくことが必要と思います。行政としては、定年退職をした人を雇用した会社等に補助金を出さずようにした方が良いと思います。
210	基本的には、働かなければ食べられない人が多くなっている、社会が貧しくなっていることから、シニアの活動とか言っている。人生の終わり近くになれば、しょうがないから勤めているのではなく、生きがいを求めた活動をすべきと思う。
211	既にシルバー人材センターに登録している。
212	既に高齢化の現在、働かず、特に趣味もなく、何もしていないシニアを多く目にする。この状況は社会的にも本人の健康等のためにもいいことはない。働く機会の門戸を広くたくさん設けておくと同時に、その情報を情報弱者になりがちな高齢者へ届ける努力を行政はすべき。
213	技術論文の日本語から英語の翻訳業務を再開したいと思いました。
214	夫が3月に定年を迎えました。再任用で仕事を継続していますが、仕事内容は同じ。給料の激減に驚いています。「責任」が減ったと考えていますが、60歳で急激に能力が衰えたからとかの理由はないと思います。これは公務員民間関係ない対応になっていて、待遇（特に賃金）は徐々に減っていくとかなら、まだわかりますけどね。活躍推進といっても低賃金の労働力確保ではないですか。個々の働き方に見合った待遇があってこそ、シニアが活躍できると思います。公的機関は特に遅れていますよね。
215	勤務時間短縮で、身体に無理なく頑張ってください。
216	勤労意欲の継続できる知恵と工夫を常に持ち続けよう。
217	近い将来人口減少に伴い企業はシニアを活用しないとマンパワー不足になるのではと思います。これにシニアを充当するのであれば企業側は使い方をシニアは使われ方を身に付ける必要があると思います。両者これに対応できる体制ができればマッチングしやすいのではと思います。
218	経験、知識、技術を活かすことは重要だと思います。体力、意欲があれば、働く機会を提供していくことが必要です。またはボランティアとして提供し、社会に、地域に貢献しているということが実感できることが重要だと思います。
219	経験が生かせる、社会参画、自己効力感が満たされマッチングがうまくいけばいいなと思う。
220	経験のみに特化しない視野を持った採用方針を採用して欲しい。
221	経験を生かして働き続けることができるシニアと、全く初めての職域へ挑戦するシニアに分けるとしたら、県としては、どちらを応援したいのだろうか。応援したい方のシニアを雇用し続けた際の企業への助成金を払う仕組みがあれば、多少有効かと思う。また、歳のとりかたは個人差によるところが大きいので、意外と仕事のマッチングが難しそうだと想像する。若い人にシニアが働くということへの配慮を教える機会も必要だと思う。
222	結局は財政の切り詰めのための政策にしか見えない、現在年金などを受給している年代にも相応の痛みを伴ってもらって、公平な負担にしたうえで、シニアと呼ばれる人たちの格差が大きくならないようにして欲しい。
223	健康が一番。そのフォローが必要。
224	健康で、できるだけ長く働きたいので定年とかはなくなると良いと思います。
225	健康であればまだ働けると思います。時短で良いので今後の社会に役に立ちたいです。
226	健康で今までの経験や知識を活用できることは素晴らしいと思います。そのためには、働くシニア側も、柔軟な考え方を持つことが大切と感じています。受け入れる側は、シニアにかかわらず、相手を尊重して対応することが大事ですね。
227	健康で生きがいのある職種が今後、増えていけば良いと思う。

228	健康で働く意欲があれば、企業の方も検討してほしい。
229	健康と向上心があれば社会で活躍することができると思います。 経験と取得した技術は貴重です。 生かせるチャンスを探して生きたいです。
230	健康と働く意欲が大切ですね。
231	健康なことが一番大事だと思う。
232	健康管理の行政の支援が必要だと思います。
233	健康作りと自分に合った特技や能力を発揮出来る職場が中々見つかりません。 元気であっても年齢で切られてしまうのは少し寂しいですね。
234	健康寿命が伸びているので適材適所を見つけて就労したいと思います。
235	健康寿命を長くしたり、定年後の仕事や地域デビューを支えたり、こういったことは、いざ定年を迎えて始めるぞ！という人に向けても遅いと思うので、定年前から早くから興味を持たせないといけないと思う。
236	健康診断のなかに、認知機能検査を定期的に入れる。
237	健康第一を目指した行政の支援を期待します。
238	健康面や将来設計など個人差が大きいのので、一律に扱ってほしくない。
239	健康面や親の介護に適切な配慮があるとよいです。
240	県の介護ボランティアの講習を受け初級の資格をとり少ない時間でもいいからと活動を考えて面接を考えました。最初は積極的に探してくれていました。1度は面接まで行きましたがダメでした。その後なんの連絡もなくそのままなしのつぶてです。担当になった会社はきちんと責任もってほしい。自分で探すのも難しいのでやはりサポートは必要です。期間が過ぎてしまえばともう終わりという考えで何もせずほったらかしした会社に講習の委託はやめペナルティをかけないと同じようにいい加減な業者が介入し迷惑です。せっかく受けた講習も無駄になっています。一部の人には熱心で人による偏りもありました。
241	元気なシニアも多い時代ですので、邪魔にならない配慮を持って働く場所があればいいと思います。
242	元気に、やりがいのある仕事に就けることが大切。
243	現況ではシニア雇用も若者の新規採用も難しいところですが、いつまでも続くとは限らないので、経済が完全回復したときのために、今こそスキルアップの好機です。 いつの間にかシニアと呼ばれる世代の仲間入りをしていた私も持病がまたひとつ増えましたが、現在の職場が年内で閉鎖されるため、スキルアップして次の働きやすい職を見つけないといけないので、サポートよろしく願いいたします。
244	現在、後期高齢者として企業の経営者として、毎日元気に地域社会の一員として、シニアの一員として、健康第一を目指して働いています。残念なことは75歳を過ぎると、健康保険組合から、離脱されることにあります。元気に働いていますので、健康保険組合の一員として、これまで通り全国健康保険協会の高齢者の医療に関する法律等について見直しを望んでいます。
245	現在64歳で週5日スーパーマーケットで勤務しています。高齢になってからの職探しは前職（私の場合事務職）にこだわるとかなり難しいと実感しました。 前職に関係なく就職でき、70歳まで働けるので今は毎日出かける場所があることが有難いと感じています。
246	現在65歳ですが、雇用延長で奮闘しています。健康維持にも必要ですが、やはり世の為、人の為という気持ちが大切だと思います。利自即利他ですね。
247	現在78歳、週4日10時～20時まで、楽しく働いていますが、コロナが蔓延して、辞めざるを得ないところです。
248	現在80歳を超えているが、電子工学・コンピューター分野について、世界の技術動向に対して向き合っており、現役のエンジニアと語らいの場を作り、親しんでいる。 不定期であれ、向き合う場があれば、いつでも対応できる自分でありたい。
249	現在83歳、働くことより健康管理。自分のみならず家族みんなの健康が第一。 妻が認知症で、介護の毎日です。衣類の着替え、食事作り、洗濯、掃除、病院通いシニアの活動は先ず家族の健康から・・・と考える日々です。

250	現在ITエンジニアとして請負契約での仕事をしていますが、以前ハローワークで求職をしていた際、求人職種の狭さに驚きました。職種の裾野を広げて頂き様々なジャンルの求人を取り扱って頂きたいと思いました。
251	現在では芝刈、スーパーでのカート運び、清掃など限られた職種でしかシニアの方を見ることがないので、職種の幅がもっと広がると良いと思います。
252	現在のシニアは前より若くなっているから、シニアの退職前の仕事の知識、スキルを充分に発揮できる仕事を会社は見つけるべきだ。転職などはさせない方がいいと思います。
253	現在の勤務先は、65歳定年です。 定年後は状況の許す範囲で、ボランティア活動等に参加したいと考えています。 生活のために働くことになるかもしれませんが、働き続けることにも抵抗はありません。
254	現在勤務していますが、年金を支給されているから、毎月9日でもいいとか、12日でもいいのではないかとの会社幹部の意見で勤務日数と時間数には大変不満です。最近の若い人には、入社即日20日指定、我々には、決定していた勤務日数から、削ってそのものに勤務させています。このようなことがあってはならないことです、会社の指導を願います。 県民税・市民税は毎年もれなく支払いしています、県の責任において各企業の指導すべきです。
255	現職時の企業での種々（資産形成・老後の生活など）の高齢化研修。また自己の研鑽推進・趣味の拡充。地域/風土の特質理解・社会参加・ボランティアの検討など、多岐に亘る自己認識の醸成。
256	現役でいつまでも働いている姿をたまに拝見するとこちらまで元気をもらえます。健康でいるには少しでも仕事に携わっている事が必要だなと感じています。シニアの方々が意欲的になれるような情報を期待します。
257	現役で働いています。自分の経験を生かすことができ幸せを感じています。
258	現役引退後に県が運営する「彩の国いきがい大学（現在の未来大学）」、「彩の国環境大学」に学びました。その関係での広がりを大事にし、県の各種審議会、その他に参画しました。 いきがい大学、彩の国環境大学に出会ったことに感謝するところです。
259	現役時代に得た仕事の若い人達への伝達。我が家の主人は、市のNPOでボランティア活動。お陰さまで、其の時代に得たお友達と現在も続いており、生徒の皆さん達からも相談を受けたりで感謝されて、本人もボケ防止になるとかで楽しんでおります。
260	現役時代に老後の生活を豊かにする為の方策を、自分から考えておく必要があり、加えて行政も支援体制が必要。
261	個人としてみれば、定年廃止の考えもあるが、やはり一つの区切りとして、定年はあった方がよいと思います。仕事にとらわれず、自由な時間を過ごすことも長い人生にとって重要なことだと思います。（社会として年金財源不足、労働力の不足はあるものの、、、）
262	個人によって、仕事に対する希望は様々です。シニアに限らず、様々な希望に応じて雇用者が対応できるような、柔軟な世の中になると良いと思います。
263	個人差が大きいので一律の対応は難しいと思います。時間を売る働き方は限界です。
264	個人的にはいわゆるシニアになるまでにある程度資産形成をして、60歳以降は、地味ながら悠々自適生活を送りたい。 あまり働け働けとせつつかれたくない。
265	雇用する側がシルバーを活用する場合の仕事はどう作るかを県と企業と向き合って会議体を持って議論して欲しい。 いままでシルバーを働かせる環境など考えた職場環境などを作り上げてきた企業などないからです。 また、シルバーを雇用するメリットなども創設して行きませんか、いくら働く意識向上や働きたい人の創出をしても働く場がないという状態になる。 積極的なシルバー採用を取り組む企業づくりが先です。
266	雇用拡大しないとシニア活躍の場が少ない。若者をどうしても優先している。
267	公的な仕事について、もっと門戸を広げたらよいのでは？ 私は定年退職に際し、友人の弁護士から「調停委員」になるように勧められたが、「調停委員」などの公的な仕事は、誰でも応募できるよう、広報を推進したらよいのでは？
268	行政からの給与補助。

269	行政の支援を充実させた仕組みづくりを期待している。
270	行政は金を使わず高齢者支援を実現するためには市民活動団体の支援から始めると良い。例えばイベント情報誌に記載するだけでも市民の行動範囲は広がる。退職後の夢を実現するために情報をいかに発信するかが課題だと思う。公共施設や駅など誰でもが情報発信できる掲示板があれば良い。前例主義を担当者が打破できるかどうかである。
271	高齢になりますと個人差が大きくなると思います。シニアの人でも活躍できる場所は多いと思いますので、マッチングが大切だと思います。
272	高齢になると心配なのが身体問題。それを理解した上で働ける環境があれば安心して仕事に臨めると思います。
273	高齢の人を働かせるにあたって、若い社員の理解が必要。特にIT機器の利用に関して意識のずれがあり、管理職が仕事を上手に振り分けないと良い成果が得られない。
274	高齢化時代に適した職業の選択ができる環境整備が必要である。今までの経験を生かせることなどを選択基準にできることを望みます。
275	高齢化社会の中、昔の慣習は既にミスマッチになっている。体力的にもまだまだ働ける世代なので社会の定年制度から見直すべき。
276	高齢社会で、シニアの就職事情はたいへん厳しく、また、待遇も良いとは言えないものばかりが目立つ様に思います。パイを増やす事も重要ですが、一労働者として生活できる労働条件が必要です。上記、特に後者に対して自治体の担う役割は大きなものであると思います。
277	高齢者が、生きる喜びを感じられる施策が必要です。
278	高齢者の雇用が、進むよう環境整備をもっと実施して欲しいです。
279	高齢者の体力知力の衰えの防止は家にとどまらず自宅外に出ることが第一。その為には、短時間でも働く時間を作ることが、本人にとり周りにとり、望外の幸福をもたらす事を超高齢になって知る事が出来る。
280	高齢労働者は、働けるといっても、やはり体力などが劣っていきます。定年制を廃止すれば、比例して高齢者の労働災害の被災者を生み、労働災害を起こしてしまった企業も責任を問われ信用問題になりかねません。よく議論して欲しいと思います。
281	国家として、シニアを労働力として活用したいのか、社会保障制度の安定のために働かせたいのか、個々人が、生きがい、健康、社会貢献のために働きたいのか等々、指針を明確にできないところに、国家、地方行政の施策のあいまいさがあるのではないのでしょうか。
282	今ではシニアの方々が多く働いていて、元気そうだなと思っています。ただ、持病を持ちながら無理して働かなければならない社会ならちょっと抵抗感があります。
283	今の職場で、シニアの方が入社してくると、半年位経つと、長年勤務している人に指示を出したり管理職の様な振る舞いをしてくる人が多い。いつまでも前職の地位にいたいと思っています。定年廃止にすると、年功序列がいつまで経っても終わらないので、ある程度の年齢で、リタイアの制度は続けて欲しい。
284	今は、再雇用制度もあるが、正社員ではなくなり、ボーナスもなく、給与も減るのに仕事内容は定年後も変わらずなので、その改善を早急にして欲しいです。働きたくても働きたくなくなります。
285	今は60歳過ぎても、働く意力があれば働ける場所があると思うが、雇う側の理解と職場の雰囲気も必要と思う。
286	今は65歳まで定年は伸びてますが、70歳でもよいのでは。働けるうちは年齢に関係なく働けるような世の中が良いと考えます。
287	今はまだ60歳以降の事は考えていませんが、60歳になったときに何かできるだけの健康なり体力なりが不安にはなります。無理せず自分のできる範囲での仕事があればと思います。高齢化が進み自分がその年代になったときに果たして出来る仕事があるのか。
288	今は生きがいのために働いています。
289	今は特に自分事としては考えていないのですが、希望者が適正に扱われるような仕組みが一般化することを望んでいます。
290	今までの経験を還元したいので行政にはその辺をスクリーニングしていただき仕事に結びつけていきたい。
291	今まで培った経験ある仕事を続けたい。
292	今後IT系にも強い人材が多くなると思います。地方移住も含めたネットワークインフラの整備も進めて、地方活性化にも役立ちたいと思います。

293	<p>今後の人口の減少に伴って、就労世代の人口も確実に減っていく。その中で単に定年の年齢を延長し、老年世代にも働き手となってもらうのは安直に過ぎるのでは無いか。</p> <p>現在の日本の労働生産性の低さの改善がまず急務だと思うし、老年世代は働くことへの意欲があったとしても、どうしても若年層に比べ認知能力や体力、注意力が劣り、ヒューマンエラーの数も増えるだろう。致命的な事故に繋がる可能性も高くなる。</p> <p>人口が減っていく中で、自治体や国家の成長だけに目を向けるのではなく、また無理に老年世代に就業を促すのでもなく、まず少ない人口でどう労働生産性を高めていくかを考えるべきでは無いか。</p>
294	<p>今後は、人生100年時代を意識して、生活していく事が必要では・・・。</p>
295	<p>今後は高齢者の比率がもっと高くなり、高齢者中心の法整備、就職支援、研修会の支援等を進めていかななくては、人口減少そして若物のフリーター、無職の人が多くなり、経済が成り立たなくなってくるのではと危惧しています。</p>
296	<p>今後は定年後の生活と習慣はガラリと変化する時代が来ますが、大変良い取り組みですね。羨ましい。</p>
297	<p>今後も、積極的なPRをお願いいたします。</p>
298	<p>今年で満70歳を迎えますが、企業の継続雇いで65歳まで働き、その後もその企業グループの人材派遣会社の派遣社員となり今年で契約終了で退職となりました。</p> <p>その後も、主に、体力的、能力的にもまだまだ働けるということと、適度に働くことによる健康維持や年金だけに頼らない生活をしたいと思い、自分でインターネットや新聞チラシなどで職を捜し、4～5件ほどの派遣会社にエントリーして面接を受け、ようやく5件目の募集案件で採用になった次第です。</p> <p>その経緯に至るまでに強く感じたのは、60歳代、増してその後半と、年齢を重ねるごとに、余程の資格などのスキルがない限り、仕事の内容や手当て面でハードルが高くなる(良い条件での働き口がない)ことを痛感しました。</p> <p>そういった現状を打破するためには、より一層の行政の取り組みを強化、推進頂くことが必要だと思います。我々の年代でまだまだ働きたい意欲や体力のある方が沢山おります。</p>
299	<p>今年三月に定年になった。その前に新しい仕事を決めていたが、コロナのせいで待機させられることになったので、仕事を辞退した。今コロナの影響を受けにくい仕事をさがしているが、今のところ見つからない。あきらめずこれからも探すつもり。</p> <p>この年になれば、容姿の衰えはしかたがないし、接客には向かないかもしれないが、データ入力などは若い人と同じようにできるので、年寄りだと決めつけないでせめて面接だけでもしてほしいと思う。</p>
300	<p>再就職がしやすい環境整備と、適性と職場とのマッチングが行政の方で窓口としてできればいいなと思います。</p>
301	<p>再就職や新職種へは、精力や体力が浪費されるから、再雇用がお互いに(社会にも)よい。</p>
302	<p>歳をとったら隠居したかったのですが、どんどんゴールが先へ移動して行きます。</p>
303	<p>歳をとっても働くという選択肢がある、という議論であるべきが、歳をとっても働かないと生活ができない状況になってきているのはおかしい。働きたければ働けるし、余生を楽しみたいなら働かなくても大丈夫な制度づくりをしてほしい。</p>
304	<p>埼玉県「働くシニア応援サイト」が参考になる。もっとここをPRしてはいかがか。</p>
305	<p>埼玉県は他県に比較して、NPO法人が多い。ただしNPO法人自身が、人件費捻出には苦勞工夫している。</p> <p>事業補助は多岐にわたるが、人件費補助金は少ない。シニアが中心になって実力発揮しても給与支払いまではなかなか立ち行かない。優秀なシニアがたくさん活躍しているので、人件費補助を「シニアの就労」奨励金のような制度ができるといい。</p>
306	<p>埼玉県内でのシニア活動の現実、実態を知りたいですね。</p>
307	<p>産休育休を取ったメンバーのいる企業・部所への人員補充として短期雇用としてシニアを投入することが出来ないか、、、と考えます。</p> <p>既に知識があって即戦力として活躍できるが、正規採用まで働きたくは無というシニア世代もいると思います。産休・育休の間だけ補充が欲しい現場と短期だけ働きたいというニーズが上手くマッチすることができれば最高だと思うのですが、、、。</p>
308	<p>仕事だけでなく、社会、地域に分相応の貢献ができるプランを現役時代から検討する事が大切だと思います。</p>

309	仕事は圧倒的に東京にあるので、都と協力して取り組んでいただきたい。
310	仕事場の確保をして欲しい。
311	仕事中の若者に怒鳴り散らしてるご老人もいるので、元気なら働いてほしい。
312	子供の成長は1～2年の差ぐらいしかないが、老人の老化速度は人により、5～10年ぐらいの差がある。政治家の中には老人が多い、まだまだ活躍できそうな人、早く引退してほしいと思う人がいる。単に年齢だけで分けるのは危険。
313	私の技能が現在どれくらい生かせるのかよくわからない。年を取ってしまうと最新技術がよくわからなくなる。
314	私の時代とは時代が変わりました。他の機関の協力を得るのではなく自ら勉強（積極的に）し新しい知識を得る様ではなくては70歳定年を求めることは難しいと思います。甘えは禁物ですね。
315	私の時代は、まだまだ年齢的な、偏見や縛りがあったように思います。70代に差し掛かろうとする今、もっと働けたのに、と思います。自分自身の弱さに、腹が立ちます。年齢ではなく、働く意欲があったら、いくつになっても働ける社会になってほしいです。
316	起業する高齢者支援も配慮下さい。
317	私は、現在66才だが、会社の理解、周囲の理解もあり、ガンの治療と並行しながら仕事をさせてもらっています。自分の技術が今の職場で十分通用することがわかり、それを受け入れてくれる環境でもあるため、暫くはこのまま仕事を続けられることを希望しています。会社も、積極的にシニアを活用していますが、健康面には会社へ影響が出ているようです。できれば、経済的な面で企業を応援できる仕組みがあると、私達も会社ももっと、活躍できるのではないかと感じています。
318	私は、自分の人生をどう纏めるかを考え、定年までに借金を返済し終わる。健康維持をどう図るか考えて、準備した。お陰で、余裕のある状況を確認できた。健康に関わる支出が無く助かっていることが大きいかもしれません。
319	私は54歳の時に早期退職し、ハローワークに通いました。しかしながら希望する職種の求人は無く、東京のハローワークにも行きました。そのうち出向していた職場で在宅勤務の仕事があり、60歳まで続けていました。コロナウィルスの影響で在宅の仕事が可能だと思うので、シニアもインターネット環境を整えて、知識や技術を活かせる様になればいいと思います。
320	定年退職をしボランティア活動と趣味のテニスや卓球を中心に気楽に2年間過ごしていましたが、妻が「私には定年は無いの（妻は結婚してから専業主婦）」の言葉に、やはり自分は外で仕事をするのが良いと考え、契約社員として勤務を始め3年目にはいりました。ボランティアやテニスも続けながら充実した人生を送っています。上司は全員年下で、収入も3分の1程度ですが、不満はありません。次は70歳になる際に次の生活を考えようと思っています。
321	私は76才でも一応働いていますが、定年時(63才)には予想も出来なかったもので、今になって、シニアへのサポートが不足していると感じています。
322	私はもうすぐ60歳ですが、正社員を辞めて10年、現役で働くのは正直辛く、最近、ハンドメイドで家で仕事をしています。シニアが無理なく働ける環境を社会が作ってくれる事を願います。
323	私は障害があり自分1人でトイレに行くことが厳しいので働けていません。シニアの方も車いすの方は多いと思います。多くの方に働いてもらうためにはヘルパーさんを雇ってもらえることが大事だと私は思います。障害が重度の方でも働ける環境を作して下さい。
324	私は定年延長を強く望んでいます。そのような法律が一刻も早く制定されることが、重要です。事業会社に対して強制力を持つ必要が有ると思います。国家的にも年金の受給者より、納税者を増やすことが大事だと思います。
325	私自身83歳までパートで、保育の補助で働けました。
326	私は定年(60歳)後、66歳迄社員として働きました。企業の理解がないと定年後は継続して中々、働けないのが現状ではないですか。人生100年時代ですのでシニアの方を企業は長く働かせて頂きたいと思います。

327	次の世代に道を譲ることも必要だと思うので、定年撤廃は反対です。シニアの働き方は自分が前面に出るより、後進を育てるためのアドバイザー役や社会貢献、全く違うことにチャレンジしてみるなど、現役時代とは異なる働き方を推進する方が社会全体としてはうまく回るのではと思います。
328	働けるまで働きたいので 行政のサポートが欲しい。
329	自分が60歳以降どうしたらいいのかわからない人も多いと思います。そのような人が増えれば社会福祉費の増加にもつながるので、セミナー、講演会、広報などを通じて啓発活動を行ってほしいと思います。
330	自分が若い頃、厚生年金制度が出来た。だが加入する人が少なくて厚生省の職員が企業を廻って昼食時社員を食堂に集めて勧誘をした。「20年加入すれば毎月35万円支給します、国の約束だから間違いはありません。」だが自分が退職期には制度はすっかり変わっていた。今後についても様々な理由をつけて支給額を引き下げてゆくようです。国の政策は信用出来ない理由がここにあるのです。人間寿命にはリミットがある。それを「活躍推進」と言い換えるのは、それでよいのだろうか。
331	自分に体力があり、また健康であれば、何歳までも働く気持ちを維持し勤めることが賢明だと思う。
332	自分のシニア時代はまだ遠すぎてイメージできませんが、労働人口の減少を考えるとぜひシニアの方にも活躍してほしいです。 それだけでなく、後継者問題や技術の継承が大きな問題になっているので、雇用する側・される側が納得しているのであれば長く貢献してもらえるに越したことはないと考えます。 また、もらえる年金が少なくなることを考えると働かざるを得ない人も増えると思いますが、体力の問題を考えたフレキシブルな雇用方法や、死ぬまで働く（リタイア後の生活がない）ことの是非など議論を深める必要があると思います。
333	自分の健康管理と生きがいを持って生活するべく70歳位までは働きたいと思います。
334	自分の持っているネットワークの活用をしたかった。
335	自分の生き方の問題であり、行政に頼ってはいけない。
336	自分は75歳で働いていますが、身体が動く限りは働きたい、頭の為、身体の為、家庭の為にも良いと思っております。
337	自分は仕事の先輩だという意識や、上から目線的な仕事意識を捨て、職場に溶け込み職場から学ぶところは学ぶ、若い人に教えるところは教えることで、多くの仲間の共感を得るようにすることが大切。
338	自分自身60歳以降も働きたいとは思っているが、若い人と比べて能力は落ちるだろうと予想できる。今後は更に高年齢の方の雇用が増えるだろうが、任せられる仕事は少ないのではないかと？ 能率が違うのに同じ賃金では逆に若者のやる気が失せるのではないかと？ という心配もある。
339	社会貢献意識の向上。
340	若い人たちのために定年制度は必要と思いますが年金だけでは生活できません。若い力と高齢者の経験と知識を調和させる必要があるのではないのでしょうか定年後働くと年金が減額され、賃金の為だけを目的に働いて、持っている知識や経験を若い人たちに教えない人が多くみられます若い人たちのためにも、お金だけではなく持てる知識を伝承する必要があると思います。
341	若い人には気づかない、経験と知恵をシルバーは持っているので、職場の年齢層を広くすると良いと思います。
342	若い世代と理解し合い、補いながら仕事ができる仕組みづくりが必要です。トップの意識に左右されると思いますので、行政と企業トップが積極的に取り組んでほしいと思います。また、一緒に働く若い世代にも関係してくるので、シニアについて理解できる機会を設ける必要があると思います。
343	若い世代に年金負担を押しつけ無いためにも、少しでも長く働きたいし、年金支給開始年齢も上げて良いと思う。
344	若い世代の雇用を維持するためにも、定年制度は維持した方が良いと思っている。シニアであっても経験を活かした働き方があるので、活用できるような仕組みができればよい。
345	若い世代の人口が減っているので、シニアや女性活用のための施策を県も強化してほしい。
346	若者が減っているので働かざるをえない。

347	若者が減少している昨今、現役世代とシニア世代が活躍できる棲み分けができた方がお互いやりやすい。
348	若者の雇用が保証されればシニアになっても経験が活かせて、定年後の選択肢が広がると思うので、シニアも大事ですが若者の教育を大事にしてほしいと思います。
349	若者の就職難民が置き去りにされているようで心苦しい。 シルバー人材センターに行ったが、会費徴収、家族の承諾書と面倒だった。 交通網がしっかりしてないのに、シニアは雨の中、自転車で通勤？交通費無し？ 勘弁してください。シルバー人材センターは、仕事を探すことだけに力を入れてませんか？
350	若者の職を奪わないのが大前提です。
351	若者の負担を減らすためにも、お元気な方は働き、納税し続けてもらった方が良い。 定年制度はなくしつつ、目安として平均寿命の10年前まで働くのが普通だとアナウンスしてはどうか。
352	趣味等自分の楽しみな時間を持ちながら勤務出来る。
353	収入は二の次として働けるうちは働きたいと考える人は多いと思う。ただし、現役バリバリとはいかないのでシニア枠として負荷の軽い仕事内容となる。でも、そのような条件での職探しをしようとする情報源は殆ど無い。年金対策や健康保険削減にも貢献すると思うんだが。
354	収入を得るため「働く」と社会への貢献の為ボランティア活動を求めるとの狭間で悩む人間の折角の能力・機会を公的機関としてどの様にピックアップ出来るか／するかを是非検討願いたい。
355	就労だけでなく、ボランティア、自己啓発の為のセミナーなど、シニア向けの講座を発信して欲しい。
356	週2日程度の勤務で小遣稼ぎが出来る仕事。
357	助成金とか研修会といっても、どこかの組織や企業に中抜きされてしまって、形だけの役にたたないものになっていませんか。 住民活動・ボランティアのようなことはいくつか取り組んできましたが、やっていることがちゃんと評価されているとは思えない事が多いです。
358	小生は御蔭さまで70才まで再就職を含めて勤めることができました。ただ、まだまだ勤められる体力、能力がありましたが、やはり定年制でその後は勤めを断念しました。年齢も一つの判断基準ですが人それぞれ違うので定年制は廃して欲しいです。
359	少子化のなかで元気なシニアが多く、有効に活用すべく法整備も必要かと。
360	少子化社会や長寿社会を支えるためにも、定年の延長やそれに見合った年金制度の改革は喫緊の課題です。国におけるスピード感をもった施策の推進が望まれます。 県においては、地域の実情にマッチした勤労シニアの支援体制作りをお願いしたい。
361	少子化等で今後はますます働き手が少なくなってくると思いますが、シニアが働く為には健康であることが前提となります。 シニア世代が健康で仕事に従事できれば、家庭内でも職場でも更なる波及効果が期待できると思います。 しかしながら、私の周囲にも仕事をしたいが良い勤め先が無いというシニアの方がいます。そういう面を行政サイドはもっともっとサポートして欲しいと思います。
362	少子化等により労働人口が減少傾向なのは周知の事と思う。全労働人口に占めるシニア世代の労働者割合は増加傾向にあると思われる。これからの未来において働き方はどんどん変化していく事だろう。それらに対応していけなければ、仕事に就く事ができない者もあるかも知れない。今現在もシニアは重要な労働力として各方面での活躍を見ることが出来ている。これからの未来は、シニア人口の労働力としての役割が益々多くを占めていくことだろう。
363	職安ではシニア向け斡旋には非常に消極的な対応をする。杓子定規である。
364	職業紹介を営んでいますが、定年制との関係で55歳以上の方の再就職は本当に難しいです。職業紹介業も手数料の柔軟化等を企業に対して提案し、その市場を拡大、シニアの活躍できる場を広げる努力が必要と感じています。
365	職住近接が第一条件、地域での雇用促進を県・市町村に要望する。
366	職場の理解、働きやすい環境がもっと必要だと思います。
367	新卒に比べて、シニアの就職活動は、体力面や応募条件など、ハードルが高く、不安が大きいのので、解消してもらいたい。

368	身障者のシニアの職域の拡大。
369	人手不足といわれる昨今なので、シニアの受け入れは重要です。しかし、体力・気力などに心配りしながら、活動してもらえる環境を整備していくことが大切だと思います。
370	人間関係などを考慮すると、60歳まで働いた職場での継続勤務が良いと思う。企業の定年廃止と働きたい人への意向を受け入れる環境が必要と史料する。
371	人間中心の新・働き方改革の立案。経営者発想の働き方改革の廃止。人材派遣型使い捨て人材論の廃止。長期雇用、人材育成、技能継承、会社一家の発展など昭和日本企業論の復活と評価基準の見直しをする。その中で連続するシニアの働き方も見えてくる。アジアの現地工場で使える行程管理のプロがシルバー人材センターで自転車整理しているのはもったいないと思う。
372	人口減への対応として、働くシニアの増加が見込まれるが、それを支えるための健康面のフォロー（健康診断に加えて、相談し易い制度）、社会保障制度の充実が求められる。相談は雇用企業などのみならず、県の制度もあると相談し易いのではないのでしょうか。
373	人材活用サイトなどで、自分に合った仕事があれば働きたいと思っている人はたくさんいると思います。再任用で賃金が下がり意欲の低下も考えられるので、老後の安定した生活が送れるよう社会全体で仕事をするシニア層の支援体制が必要だと思っています。
374	人手不足の社会、超高齢化社会、定年まで勤めあげ、ゆっくりしたい事でしょうね。現役時代には出来なかった、時間の融通を付け、旅行などを楽しみつつ、社会の為、ご自身や家族の為にも働けるうちは働いてください。私もシニアになっても元気に活躍出来るよう頑張ります。
375	人生100年ですのでこれからもシニア向けの情報発信を行政が積極的に啓発活動をしてもらいたいです。
376	人生100年ならば、その半分の人生から第二の人生でもいいと思う。 85歳の寿命だとして70歳、75歳でシングルになってどうする？ 50歳くらいで、まだ体が動ける段階で違う人生を楽しんでも悪くないと思う。
377	人生100年時代を考え、定年前に次のステップへの就業支援、能力開発、技能取得などの仕組みを行政として作り上げることが重要と思う。 その時になって、さて・・・では、職はないでしょう。
378	人生経験が生きる仕事は意外とあるのだと思う。
379	人生経験を積んだ大ベテランを組織に置くことは、どの業界・職種でも大事なことだとは思いますが、本来なら社会はどんどん世代交代をしていくべきで、いつまでもシニアが組織にいるべきではないと私は考えています。私は定年まで30年近くある若手ですが、定年以降は働きたいとは全く思いません。シニアにはシニアの生き方があります。みんながみんな働いて社会で活躍する方向に話を進められるのは不本意です。働きたい意欲がある方はそれで素晴らしいと思いますが、生活するためにシニアも働いて当たり前な社会はおかしいです。
380	シニア活躍を推進していただきたい。
381	世間のシニアに対する目は、単なる高齢者でしかないので、もっと、活用の場が広がるといいと思う。
382	政府は70歳まで雇用と言っているが現実と同じ職場での継続雇用であれば採用してくれるが、退職をして新規となるといくら元気で能力があっても60歳では採用をしてくれないのが現実である。年齢で区切るのではなく人それぞれ個人差があるので何歳でも元気で能力があれば採用をしてもらいたい。
383	正直60歳まで生きていられる気がしないので考えられない。
384	正直なところ、今現在ですら日々働く事が面倒で「遊んで暮らしたい」と思っているのに「シニア活躍」やら「定年廃止」やら、迷惑千万な話でしかない。 「高齢者にも働きがいのある世の中を」などと言えば聞こえは良いが、結局は社会保障制度破綻のツケを年老いてなお払わされる事になる訳で、まったくこの手の話には前向きな言葉が出てこない。
385	生きがいとして働きたい。
386	生きがいのために働きたいから働くのではなく、この令和では働かないと生きていけない為にやむを得ず働いているシニアが増えるだろう。 元々資格や技術を持つ職は定年雇用の撤廃でシニアの就業環境の維持を、新たなチャレンジで全く違う職に着く場合は雇用側と労働者側双方のマネジメントを行えると良いと思った。

387	生涯現役で社会に貢献出来る事を積極的に無理をしないで推進出来る準備を若い時代から進める事であると考え。経済に左右されない準備も併せて必要である。
388	生活するために働かなければならないというようなことがないようにしてもらいたい。余力で余裕を持って働ける状態になるとよい。
389	生活のための資金（蓄え＋年金）を計算している。食費、旅行費、治療費等が出費。
390	生活費のためだけと考えず、健康のためと考えて体を動かした方がよい。
391	生産人口の減少がみられる日本では定年を迎える人口が増え又超高齢者も増えていくので意欲のある高齢者の働く場の拡大と相談窓口が増えるといいと思います。
392	税金や年金等、働いた事によって損をする事が無いように。
393	責任ある立場に転職、再就職のシニアがくると、若い人の意欲が下がります。適材適所で企業や社会を盛り立ててほしい。 職場で新人20歳で指導者が70歳で価値観が違いすぎて困っている。間に入る人も大変です。 経験は生かして、指導は遠慮して欲しい。 ただ、不登校支援教室ではシニアの先生にゆっくり関わっていただき、助かっている。適材適所で活躍してほしい。
394	今後年取ったときに就職先などあるでしょうか？ハローワークも形だけで紹介してくれるというわけでもない。病気後年単位休んだ後に主人の就職ができるのか。マッチングをしていただきたいです。そういう制度をしっかりと作ってほしいです。コロナと病気のこともあるのでリモートで仕事できるのが一番だと思っています。コロナで人と接しない仕事の方法を確立してからシニアに働きませんか？と言ってください。シニアになると人と接することが危険と隣り合わせになってしまう時代になってしまったのですから安全を確保してから推進してください。
395	専門知識を活かせる環境の整備。
396	全ての項目が働くことを前提としている。 働かないでいきいきと暮らす社会を目指すべきだと思う。 もちろん働きたい方は働けばいい。
397	全ての人を、横一線で引くのはおかしいと思う。
398	多くの企業、求人案内は、年齢・性別で規制が多い。個体差・個人差・能力差を考慮する企業等の出現を期待します。
399	体が健康である限り働きたい。また、年金が付与されるまでは働かなければ食べていけない。
400	体の自由が利かなくなっても働かなくては生きられない現状をどうにかしてほしい。
401	体力・能力があり小遣い稼ぎで働きたいなどのシニアが働くのは良いと思います。 でも、年金だけでは暮らしていけないし、貯金も2千万なんてない、体力もない、でも生活していくお金を稼ぎたいシニアも大勢いるはずなので。企業のよっぽどの配慮などがないと厳しいですね。
402	体力が不足してくるのだから、体力勝負ではない仕事をシニアに振る、など役割分担が必要だと思う。
403	体力などに不安があるが、働きたい人はたくさんいると思うので、上手くワークシェアをしてやっていけたら良いと思う。
404	体力や技術的に見合わない仕事について、怪我をしたり体調を崩すシニアの話を知っています。労働環境が整備され、長く元気に働き続けられるようになるといいと思います。
405	体力や能力、気力は人それぞれなので、年齢で区切るのではなく、力のある人は仕事を続けられるように、柔軟な法整備が重要だ思う。
406	退職時に経験したハローワークやシルバー人材センターから紹介される仕事は今までのキャリアを生かせるものが全くなく、ハローワークの担当からはあからさまに嫌味を言われる始末、ここに書かれているシニア応援プロジェクトでは超高齢化社会を迎えている現在、単なる絵に描いた餅でしかないと思う。
407	大学の非常勤講師をしていたが65歳定年。
408	大切なものは健康とお金。片方だけではダメ、両方同時に成り立つ必要がある。
409	第2の生活設計を自ら作成して、その方向に向かって努力すること。

410	第一線は若者に譲り健康維持や孤立を防ぐために適度に働きたい。
411	単発派遣などネットで検索できるサイトを作って欲しい。
412	短時間でもできる仕事を紹介してほしい。
413	短時間で対応できる仕事を増やしてほしい。
414	地域でのわかりやすく参加しやすいイベントを開催して欲しいです。
415	地元での就職が出来る行政サービス。
416	中小企業ではシニアの体力等の衰えを雇いにくいと感じているところが多いように思う。啓発や補助・支援の充実を期待します。
417	なかなかシニアに合った仕事がなく、肉体的にきつく、労働条件が悪い仕事が多く、職場環境も良くない場合が多く、過去の仕事の実績を生かせる仕事が、殆どないのが現状です。
418	賃金が安すぎます。
419	定年の延長が社会的に望まれていると思う。
420	定年（60歳）まで十分働いたら、あとは自分自身の為に過ごす事を推奨。私は実践した。
421	定年といっても、役職定年や完全なリタイヤなど様々ある。企業としては組織の若返りを図るためにも一定の定年制度は必要。とはいえ人生100年時代においては、従来のように60歳前後で完全にリタイヤすることは労働資源を無駄にすることにもなるし、老後の生活設計上も厳しい。人手不足のおりからも高齢者が働きやすい環境を企業等に推進させる施策が必要では。
422	定年の延長が、進んでいくことを、望みます。
423	定年が廃止になると、今度若者の雇用はどうなるかも心配です。でも、まだまだ働けるシニアはいっぱいいると思うのですが、良く取り組んでほしいと思います。
424	定年は区切りの為に必要だと思う。そのあと同じ会社で働くか違う仕事にするか選択肢があってもいいと思います。
425	定年は廃止すべきではない。辞めたい、もしくは辞めたいけれど言い出せない人に終わりになき戦いを課すのと変わらないから。しかし長く働きたい人へのチャンスは多に越したことがない。シニアに学びの場や新人研修などを対等に受けられる場があればマッチングもうまくいくのではと思う。
426	定年を延長する会社の拡大推進。
427	定年を廃止または延長をし、そのとき役職や賃金等を変えない企業に助成金をだすなどを検討していただきたいです。
428	定年後、公益財団法人、自治体で嘱託として勤務してきました。感謝しております。
429	定年後、造園作業の勉強をして、その後1年間実習しました。そのおかげで、実習生の中にいた「造園業者」のところで、数年間造園作業をしました。現役時代は、事務職で機能材分野開発と販売で、広く世界を飛び回っていました。造園作業は、全く別のワークフィールドでしたが、とても楽しかったです。今も、自宅の庭の他に、広い農園にて、造園と農作業をしています。あと数年間、脚立に登ったり、耕運機で畑を耕して、大地の恵みを享受できればと、楽しみにしています。
430	定年後にはじめて、働き続けないといけない状況かどうかわかるので、そういった人へのフォローをすれば、働き続ける機会が増えると思う。
431	定年後に地域や分野で、シニアのそれまでの経験や知識を活かしたボランティア活動への参加が活発になることを期待します。この場合、シニア自身もそれまでの社会的地位に拘泥せず、謙虚に活動に参加する事が必要で、その実績によって信頼を得る事で、地域や組織の中でやりがいのある立場に自然と立つことができるでしょう。
432	定年後の経済的保証が不十分な現況で、働き続けなくてはなりません。現役時代の経験を活かせる仕事を見つけられる公的システムを充実させることを希望します。
433	定年後の継続雇用で給与待遇が極端に落ちる部分が腑に落ちない。この部分は法整備で待遇低下を守るべき。

434	定年後の事はいつでも悩んでいます。 子供に迷惑かけないようにしないとと思っています。
435	定年後の人生は健康第一で、普通に健康な生活を送れることが、最高の喜びで、金銭的な事より、優先する事を実感している。 その為には、各自規則正しい生活をいかに自分なりに実行し、継続する事が出来るか。これを実践するためには、生涯学習と就労を適度に組み合わせて、毎日の生活で継続して実行する事である。これをいかに県としてサポートするか、シニア目線に立ってその原点を再検討して欲しい。
436	定年後の働き方は、本人の意識しか有りません。 定年後の就職に何を求めるかお金か、生き甲斐か。 私は生き甲斐を求めて充実した人生を送っております。
437	定年後も、それまでの経験知識を生かした仕事や活動ができるのが一番良いと思います が、違った分野でも、必要としてくれる場所で働けるのはシニアにとっては有意義なのではと考えます。
438	定年後も働きたいと思っていますが、給料が大幅に下がったり意欲が削がれることが多いと思う。補助金を出したりあっせんしに注力してほしい。
439	定年後仕事があるのか心配。
440	定年退職世代に合った職業の紹介と活動の場の提供。又、活躍中の体験談等参加出来るセミナーを設けて欲しい。
441	定年制を廃止し、会社側が本人に求めるスキルや経験を明確にすることで、”生涯現役”をサラリーマンでも実現できる様になる。但し、健康面での配慮が必要と思う。
442	定年前に、定年を見据え準備をしておくことが必要。退職後のために、資格の習得、習い事等を行っていることが必要。
443	定年退職してからも働いている人は沢山いると思います。その人たちは今まで貰っていたお給料の半分くらいで働いていると聞いたことがあります。定年退職してからも働いてくれる人に対して、商品の割引クーポンや、タクシーの割引などシニア割などの整備をもっとしていくべきだと思います。
444	定年退職後、シルバー人材センターに加入した経験がありますが、自分に合った仕事の紹介がありませんでした。スタッフの充実が必要と感じています。また高齢者に対しての研修も必要と思います。仕事の内容をよく理解して気持ちよく働く自覚も必要と考えます。
445	定年退職後の豊かな老後のための年金制度の改正及び行政の支援をお願い申し上げます。
446	定年退職後は、一度だけの人生だから、これまでと違った生き方をしたいと思った。 88歳の現在、それを達した。毎日元気で活躍しています。但し現在コロナで出かけられないのが痛手です。
447	定年退職後も社会に必要とされるスキルや経験を、いかに現役時代に身につけておけるか、がポイントだと思います。 誰でもできる、誰がやっても同じ仕事だけを経験してきても、必要とされません。むしろ、若い人材の仕事を奪ってしまうだけです。シニアの皆さんが若い人と仕事を奪い合う事が無いように役割や仕事の棲み分けを進めるのが良いと思います。もちろん、必要とされるスキルや経験、知識を持っていても、そこに人柄の良さや謙虚さが無ければ総合的には必要とされません。そういう「必要とされるシニア人材」のようなセミナーの開催も必要だと思います。いずれにしても、必要とされるシニアには自然と声がかかっていくものです。必要とされていないシニアに目を向けて、そのサポートを厚くするべきです。 必要とされるような専門スキルや知識を持っていなくても、雇用したくなるような何かを身につけてもらいたい。県として取り組むべき事だと思います。最後に、福祉の仕事であればできるんじゃないかと考えるシニアが多いように感じています。（採用面接の経験から）考えが甘く、採用に至りません。 知識経験がなく、熱意や想いもなく、資格が無くてもできそうだと思って応募してくるようです。そんなお手軽な分野ではありません。 （実際は高い能力が無くても勤められる業務もあるのですが）そこで、シニア向けの研修をやってみてはいかがでしょうか。 特に障害者（児）分野の強度行動障害にさせられた障害者たちは現場でも困難ケースとして扱われ、マンパワーが必要な部分になっています。 強度行動障害、発達障害、自閉症のある人への適切な対応を学んだシニアの方であれば、採用しようとする福祉施設も出てくると思います。

448	定年退職時期に病気に伴う体力の衰えて退職。会社からは継続を求められたが、自分の体力を考え退職に踏み切った。収入面は最低限をカバーできたので、新しい生き方を模索。当時の埼玉県のいきがい大学に入学し、新しい仲間を得た。同時並行で地元市の歴史愛好会に入り地元の仲間を得た。一つの生きがいになった。何も歴史とは限らないが、自分の趣味を生かせると感じる事が大事である。絵画、音楽、旅行、ダンス等何でもこれまでの人生とは別の観点から楽しめるものに時間を費やすのが最高であると感じる。仕事が趣味で再雇用でも良い各人の時間的・才能的状况により、もう一度のトライをするのがベストであろう。家庭状況、自分の素質等々事情は違えても残りの人生を全うしたい。
449	定年廃止、生涯現役社会を作りたいですね。
450	定年廃止で、若者の就職に影響があると、これからは困ると思う。
451	シニアの能力と企業の求人をマッチングさせる就職支援策が一番有効なのではないかと思えます。
452	60歳の定年を過ぎて再雇用という形で働いています。給料は下がりましたが、自分に課せられる負担は軽減されています。65歳までの予定でしたが、その年になり話し合いで70歳までどうかとの打診を今年の契約の時言われています。65才になってまだ出来そうでしたら働くつもりです。同じ会社に再雇用でいられれば、人とかかわりに苦勞することがなく、働けます。給料は下がりますが、どこも同じでしょうから、どこの会社も同様になるようにすれば良いかと思えます。
453	働いた分、年金を減額してはいけません。働いても年金に上乘せするシステムを作らなければいけない。地域包括支援センターやシルバー人材センターに、働く環境を紹介する部署を作ると良いと思う。
454	働かなくても生活できる年金制度や高齢者福祉制度を充実して欲しい。
455	働きたいという人の意欲とそれに見合った仕事（内容・職場・距離）があれば働くシニアは増えると思います。定年～再任用後の仕事を職場が紹介してくれるとよかったです。私の場合、友達からの誘いがあり、非常勤の仕事につくことができました。そのおかげで、74歳まで働けました。経験を生かすことは、本人と職場にとってもプラスになるはずで、公務員・企業を問わず定年前から、仕事の紹介がなされるとよいと思います。
456	働きたいと思っている人のために、雇用している人数にたいしてシニアを何%とか雇用しなければならない義務を課す。 働きたくない人にたいしては、広くボランティア活動や健康を維持するためのセミナー、イベントを実施する。
457	働きたいと思っても、年齢を理由にしたくはないが現実が高齢者に厳しい。定年が撤廃されれば働きたいだけ働けるのに。
458	働きたい人、働かざるを得ない人は働けば宜しい。私は退職まで完全燃焼したので二度と働きたくは無い。
459	働きたい人は働けばいいけれど、生活のためにというのは嫌だ。
460	働きたい方々は活躍していただければいいと思います。私は働きたくないので今後は専業主婦になります。気が変わって働くこともあるかもしれませんが、好きなことをして生きていきます。先は短いので。
461	働きやすい環境を作って欲しいです。
462	働きやすい職場を探すことが、大事だと思います。
463	働き続けるためには、気力体力が充実していなければならない。職場環境が許容できるものであることを、行政の側から推進してほしいと思います。
464	働くかリタイアするかは個人の自由ですが働きたいと思っている人が働ける社会がいいのでいろいろな選択枝があるといい。
465	働くことが好きなので、環境が許せば働き続けたいと考えています。健康面が心配で、突然の病気などに、どのように対処しようか情報を集めています。
466	働くことが人生ではない。65歳まで社会のために充分働いてきたんだ。年金の財源が先細りになりそうだからと言って、年寄りを働かせるような社会にしようという魂胆が寂しい。年寄りの本心は、まだ体力があるうちに自分のやりたかった趣味や生活にたっぷりある時間を使いたい。我々年代が積み上げてきた年金制度が頼りだ。

467	働くことが生きがいの方、老後はゆっくりとした生活をしたい方など、様々な方がいらっしゃると思います。 働きたい方、働くことが生きがいの方にはぜひ働いていただき、生きがいを感じてほしいです。その為にシニア世代の雇用拡大を希望します。
468	働くことのできる者は働く、又、雇う、双方に利益と思ったら実行する。 その上で人生を楽しむ、社会を作る。
469	働くシニア世代の交流会等を行い人間関係の充実を図る事が必要です。
470	働くとは、傍を楽にすることと心得えます。 これが原点かと思います。
471	働く意欲のある人は、ぜひ長く働ける環境を作ってほしい。埼玉は便利で暮らしやすい都市が多いので、働くシニアが暮らす、働くには必ず強みになるはず。
472	働ける環境が欲しい。
473	得意分野の人達のネットワーク作りの支援をお願いしたい。
474	シニアでも働ける場所の提供のサポートをお願いしたい。
475	特に派遣法定定後の状況について、もっと把握した設問にしてもらいたいと思います。高齢者だけでなく、ほとんど(特定技能を持っている方は違うかもしれませんが私の周りの方はほとんど)最低賃金で働いている方にはほぼ全く当てはまらない設問だと思います。例えば、選択の中にシルバー人材センター云々がありますが、まだ登録は継続しているものの、一般の求職と何が違うのか全く分からない状況になっています。県のアンケートなどと言っても詮無いこととは思いますが、それなりに事情を承知しているものとして。
476	日々新聞等の記事で報道されているように、現場作業での事故による重傷者、死亡者はシニアが多い。(自動車の運転者同様) このことからして、現場作業は「極力対象外」とした考え方も必要ではないだろうか。
477	年金だけで、暮らせる社会作りを希望します。
478	年金だけでは暮らせない、シニアが元気で働ける場の提供、シニアが元気で働いてる紹介など提供して欲しい。
479	年金でふつうに暮らせるなら仕事仕事とは思わない。
480	年金の支給開始年齢の後退とセットになった高齢者対策は悲しいものがあります。高齢者の仕事には健康・頑健なフルタイム勤務がシルバーセンターみたいな賃金というよりも『お小遣い』的な両極端が多いように思います。健康や体力に合わせて調整・選択ができるような柔軟な勤務が可能なお仕事が欲しいと思います。
481	年金の支給年齢が65歳になるので、必然的に65歳まで働くようになります。それ以降はお金よりも社会貢献を考え、健康と暇な時間を有意義に使うために短時間で良いので働きたいです。
482	年金の事もあるが、やはり人生働いている事は生きがいだと思うので、行政には色々な政策を打ち出して実現してもらいたい。
483	年金の種々の問題を考慮すると、働けるうちは働いておきたい。また、いわゆるボケ防止にも働くこと・外に出ることは有効だと思うので、シニア活躍推進についての施策に期待するところ大である。
484	年金や健康診断、保険制度などで生活に困らないようにして、シニアが健康に長くボランティアを続けられるようにして若手を支援できる環境を用意する。
485	年金を判断基準にすれば、長く働くことが必要だろう。でも問題点のすり替えのような気がする。お金が足りないんだったら働けというのは・・・。
486	年金支給年齢になるまでは働くのが当たり前のような皆の意識と社会の環境を整えればよいと思います。
487	年金事務所のデータ入力等のような作業を中国の企業に委託するなら、シニア雇用で賄えるようにしてはどうでしょうか。県にもそういう作業はないですか？在宅ワークで実現可能と思うのですが。
488	年金受給、定年のギャップを早く解消することを政府主導で進めてほしい。
489	年金受給を遅らせるため、シニアに働いてもらうための定年延長等の施策でしかない。
490	年金制度が崩壊しないようにする。

491	年金生活は不安で、出来るだけ健康で長く働かねばならない時代です。行政主導で進めないと、退職者や失業者が溢れ、治安が悪くもなり、よい生活はできないでしょう。今始めないと、という切実な思いです。
492	年配の方ほど個人差があるので、柔軟に対応出来るやり方制度の導入。よろず相談所を開設。個人的にITの最近の流れについていくのが辛い。辛うじてスマホを使っていますけど…。
493	年齢だけでシニアの受け入れを断る風潮がある。 年齢を超えた活動推進の機会を作っていただきたい。
494	年齢だけによる解雇制度は再検討頂きたい。
495	年齢だけの定年は見直されるべきでしょう。能力、体力、意欲などの総合評価で決定されるべき。
496	年齢で判断するのではなく、本人の意思で定年を決められると良いなとおもいます。まだまだ働けるシニア世代の方々がたくさんいます。
497	年齢ではなく、やはり人望があり、周りから求められて、はじめて仕事にありつけるんだと思う。
498	年齢で給与が下がるのではなく、能力を発揮できているうちはそれまでと同じ賃金が得られる必要がある。 働いたら年金がもらえる期間、額が少なくなるというなら、年金は不要である。 老後の保険と言うならば、現代は多様な投資手段があるので、各自の自由にするべき。
499	年齢で書類選考を落とされる確率が高い。年齢不問としているが実情はなかなか厳しい。シニアの力を活用できる仕組みやシルバー人材以外の公的な人材活用センターをもっと多く設置してほしい。
500	年齢に関係のない実績を基準とした賃金法制の制定とその施行の徹底。
501	年齢を経れば経るほど、体力や財力、家族構成など個人それぞれに大きく異なると思われるので、年齢や性別だけで区別することのない、個人の意欲や能力、体力的に可能な職業が増えるといいなと思います。また、今よりも様々な分野で働ける、差別されることのない体制が整うことを望みます。
502	年齢を重ねた知恵の活かせる環境整備の充実は絶対必要。
503	年齢的には峠を越していても、年金の目減りや介護保険料の値上げ等、シニアの経済面にも不安要素が少なくない。一方で、若年層の働く場を取り上げるようなことはしたくないという今の心境で、働きに出ることが微妙な状況。そんなシニアは結構いると思う。先の見通しが立ちにくい世の中になってきて、活躍推進まで行かなくても、少しは世の為になり、生活の糧になる仕事につきたいと考える人に国や自治体からの背中押しが欲しい。
504	能力に合わせた賃金設定を望む。
505	能力のあるシニアなら、何歳でも仕事ができます。 本人が自己スキルを向上させることが、なによりも重要です。
506	能力のない人も一律定年延長はどうかと思う。
507	能力向上のためのセミナー、教材がネットを通じて無料で利用できたらありがたい。
508	半年に一度くらいで、健康診断を無料で受けられるようにすれば、企業も安心して採用できると思う。
509	父がシルバー人材センターで働いています。仕事内容は、除草や剪定です。雇用・労災保険等が無いのが気になります。 あと、事務所・お客様・仲間への連絡に使う通信費や通話料、仕事で使う道具や消耗品代も自分持ちです。 見積もり・お客様との打ち合わせ・仲間への連絡・クレーム対応(行動力がある・コミュニケーション能力が高い)などが、出来るリーダー格は、お客様からの仕事依頼も多く、事務所からも重宝されますが、時給制なので割に合わないと思います。 リーダーには各種能力手当のようなものを作って欲しいです。 私が知る限り、父や一部のリーダー格の人達がやっている仕事内容は、シルバー人材センターのボランティア+αを超えています。
510	副業を含め難しい問題ですが取り組んでいけないといけない問題であることは確かです。情報収集をしっかり行いたいと考えています。
511	別にシニアが活躍する必要はない。普通に働ければいい。活躍は若者がすべき。経済システムをもっと分かり易いものにして、格差を無くす。

512	母がその世代です。 仕事を辞め、父と年金暮らしに入りましたが仕事をしていた時の方が充実していたとよく言っています。 健康で元気なうちは少しでも社会と関わっていた方が毎日の生活も充実するのではないかなと思います。
513	法律で60歳以上を1事業所で何人いるか、何%以上の構成比にするような法整備も一つではないか・・・。
514	本音を言えば働きたくないです。 でも働かなければ生きていけないから、死ぬまで働かなければいけないかなと感じています。
515	本当に60歳まで働けるのか不安。体力や記憶力も落ちるのに。厄介者扱いされそう。惨めだと思う。楽しく働けるイメージがわからない。
516	本当は年金をきちんとまとめた額支給してくれさえすれば働きたくない。
517	本来であれば60歳以上でも働かなければならぬくらいの貯金もできない賃金を見直して欲しいし、働き手が減った直接的な理由である少子化対策の方がずっとずっと大事だと思う。60歳以上でも働きたい人は働けば良いと思います。
518	未だ22才ですので、ちょっとまだピンときません。
519	目の前まで来てますので良く考えねばならない。
520	役に立ちたい。
521	様々な条件はあるが、シニアは働く意思を持っており、また一方で人手不足は広がっている訳で、このマッチングを図る「機能」として自治体に期待したい。
522	要するに、年金はあてにならないから、老後の生活費は自分で何とかしろ的な考えからの”定年廃止”って事ですか？私のまわりだけかも知れませんが、老後まで働きたくないと言う人ばかりなもので。 とりあえず、その時の健康状態で出来る事があるならやれば良いなあ…程度は考えてます。
523	例えば、教員資格とかは持っていないが、在日外国人に日本語を教えることが出来る高齢者をもっと活用して、外国人が日常生活で困ったり迷ったりする場面に対応してあげられたら、お互いに良い関係を築けると思う。
524	労働基準についてシニアを対象とした法整備を望みます。
525	労働力より有償ボランティアとしての活用の方が良い。
526	老若男女を問わずに共有して地域社会を形成する。
527	老人が働くことは、惨めな老後だと思える人が減って欲しい。 何歳になっても、健康的に「身体」が動くことが、働ける事が、賃金を得る事が、幸福だという常識が定着してほしい。
528	高齢に伴う心身の衰えを考慮しつつ、シニアの社会参加する機会の創出、活躍できる場とのマッチング機能などを整備することが望まれる。
529	高齢年金の支給時期の繰り下げや支給金額の減少が進む中、一定年齢までは働かざるを得ない状況かと思われそうですが、60歳以上の年齢の人が働きやすい環境とはなっていないと思います。是非、この環境の改善をお願いしたいと思います。